第2学年〇組　外国語科学習指導案

〇〇立〇〇中学校
教諭　〇〇　〇〇
ALT　〇〇　〇〇

1.　単元名　 Program4　High - Tech Nature（Sunshine English Course2）

2.　単元について
（1）　教材観
　本単元では、生き物からアイデアを得たハイテク技術を応用し、製作された身近な物が取り扱われている。植物や動物などの特性が身近なものに生かされている具体例が述べられており、生徒にとって興味深い内容となっている。言語材料としては、比較級、最上級、as～as　があげられる。生徒たちは、様々な形容詞や副詞を用いて、複数の物を比較し、自分の考えを述べたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶことができる。
　また、本単元では、登場人物の考えを相手に分かりやすく伝え合ったり、発表したりする場面が取り上げられている。単元の最後にある Interact では、身近なトピックについて友だちに自分の気持ちを伝えたり、相手からの質問に答えたりする活動が位置付けられている。このように、自分の考えや気持ちを伝える場が多く設定されている本単元は、話すこと（やり取り）の資質・能力を育成するという観点から大変価値のある単元だと言える。中学校学習指導要領解説外国語編目標（3）話すこと[やり取り]の目標に示されているように、本単元の学習を通して、生徒たちに既習の表現を用いて、即興で伝え合う力を育みたい。

（2）　生徒観
　本学級の生徒は、ALT と会話やペア・小グループでの言語活動に積極的に取り組む生徒が多い。特に話すことについては、分からない時には周りの友人に質問したり、課題に対して前向きに取り組んだりしている。しかしながら、テーマに沿って、既習の表現や語句を使って即興でやり取りすることには自信がもてず、受け身な態度になってしまうことが多い。また、一問一答式の会話で終わることが多く、伝えたいことや聞きたいことを表現し、会話を続けることに課題がある。
　そこで、本単元では、友だちとのやり取りを通して、会話を継続させながら即興的にやり取りをすることができるように、教師がモデルを提示したり、毎時間 small talk を行ったりすることで段階的に対話を続けるための表現を身につけさせたい。

（3）　指導観
　本単元の指導にあたっては、即興で友だちや ALT とのやり取りができるようになることをねらいとする。まず単元の始めには、ALT が会話をしているモデルを見せることで、単元全体の目標を提示し、生徒たちが学習の見通しを持つことができるようにする。そして、比較級の用法を理解するために、自分のことについて表現する場を設定する。第2次では、ペアでやり取りをする場面を設定することで、最上級用法・意味の理解を深めたい。第3次では、as～as　の用法・意味を理解したあとに、自分のことを表現することで、定着を図る。第4次では、これまで学んだ表現を使い、自分にとって一番大切なものについて即興でやり取りができるようにグループ学習・ペアでのやり取りを設定する。
　本時では、導入において small talk を行い、"Really?"や"I see."などのあいづちや"How about　you?"や"Why?"など質問を行い、会話をつなげるためのポイントを確認する。次に、展開では ALT と JTE のモデル会話を聞き、ペアで行う会話のイメージを想起する。その後、「自分にとって一番大切なもの」について話す内容をメモをして、ペアでやり取りを続けくわしく伝える活動を行う。ペアでのやり取りを終えた後に、自分の思いをくわしく伝えるためには、質問を重ねて聞きだしたりすることがポイントであると押さえたい。終末では、iPad を活用して本時の振り返りを行い、次時のパフォーマンステストに向けて意欲を高めたい。

3.　単元の目標と評価規準
（1）　目標
　自分の一番大切なものについて、自分の考えや気持ちを整理し、比較の表現や既習表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

（2） 評価規準（「話すこと［やり取り］」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 比較級・最上級・as～as の意味や働きを理解している。 ・ 自分の一番大切なものについて、相手が正確に理解できるように、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。	自分の一番大切なものについて、相手が理解できるように、自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	自分の一番大切なものについて、相手が理解できるように、自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答え説明したり、既習事項を使って質問したりして、相手とやり取りしようとしている。

4． 単元の指導計画・評価計画（10 時間扱い 本時9／10）

時間	主な学習活動	評価基準
1	・ALT の対話を聞き、単元の学習内容を確認する。 ・p50①2つのものを比べる比較級の用法を理解し、インタビューをする。	〈知・技〉比較級の用法を理解している。 （ワークシート）
2	・Small Talk を行う。（比較級） ・p52think Q＆Aを通して、本文の内容を理解する。	〈思・判・表〉p52の本文を読んで、内容について概要を捉えている。（ワークシート・観察）
3	・Small Talk を行う。（比較級） ・p50② 3つ以上のものを比べる最上級の用法を理解し、「自分の興味があるもの」を紹介する。	〈主〉話し手に配慮しながら主体的に最上級を用いて話そうとしている。（観察・ワークシート） 〈知・技〉最上級を用いた特徴やきまりに関する事項を理解している。（ワークシート）
4	・Small Talk を行う。（最上級） ・p53think Q＆Aを通して本文の内容を理解する。	〈思・判・表〉p53の本文を読んで、内容について概要を捉えている。（ワークシート・観察）
5	・Small Talk を行う。（最上級） ・p50③ 2つのものを比べ、同じであることを示す as ～as を使う用法を理解し、自分のことについて表現する。 ・as～as を使い、自分のことについて書く。	〈知・技〉as～as の用法を理解している。 （ワークシート） 〈思・判・表〉as～asを適切に使って、自分の考えや気持ちを書くことができる。
6	・Small Talk を行う。（as～as） ・p54think Q＆Aを通して本文の内容を理解する。	〈思・判・表〉p54の本文を読んで、内容について概要を捉える。（ワークシート・観察）
7	・生徒たちにとって身近なものについての紹介文を聞き、その内容を理解する。	〈知・技〉身近なものの紹介文を聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。 〈主〉主体的に英語で話されることを聞こうとしている。（観察）
8	・比較級・最上級・as～as や既習の表現を使って「自分にとって一番大切なもの」についてメモを作成する。	〈主〉自分にとって一番大切なものについて、主体的に英語を用いて書こうとしている。（観察） 〈思・判・表〉自分にとって一番大切なものについて、自分の考えや気持ちを簡単な語句や文を用いて書いている。（ワークシート）
9 本 時	・比較級・最上級・as～as や既習事項を使いながら、「自分にとって一番大切なもの」についてペアで会話をする。	〈思・判・表〉自分にとって一番大切なものについて、伝え合っている。 〈主〉相手に伝わるように主体的に既習表現を用いて、伝え合おうとしている。（観察）
10	ALTと会話をすることでパフォーマンステストを行う。	〈思・判・表〉ALT に自分の大切なものについて、自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 〈主〉ALT に英語を用いて伝え合おうとしている。

5. 本時の学習

（1） 主眼

自分の一番大切なものについて、比較級・最上級・as～as を使って説明したり、既習事項を使って質問をしたりして、相手とくわしくやり取りすることができるようにする。

（2） 準備物

教科書、ワークシート、モデル文、iPad、自己評価シート

（3） 本 時

	主な学習活動・内容	指導上の留意点
導入	1. はじめの挨拶をする。 2. Small talk を行う。 3. 本時のめあてを設定する。	1. ALT とのやり取りの中で5W1H の質問を聞き取り、理解したり答えたりできるようにする。 2. トピックを設定し、対話を行う。 ・ Repeat/Comment/Question の表現を掲示し、対話が続くように支援する。
	自分の大切なものについて、友だちとくわしく伝え合おう。	
展開	4. 教師と ALT のデモンストレーションを聞き、やり取りの方法をイメージする。 A: Hi, Ms.○○, what's the most important thing to you? B: The most important thing is my daughter. A: Oh, I see! What's her name? B: ●●. I love her very much. How about you? A: Hm, I think time is the most important. B: Time? Why? A: Because life is short. I want to enjoy every day. A: Interesting! How will you enjoy your day today? B: I will eat sushi for dinner. A: Oh really? I will eat curry with ●●!	4. それぞれの大切なものをくわしく伝え合うために、教員が使っていた工夫点を確認する。 ・ 理由を尋ねる／理由を述べる。 ・ 相手の意見を聞く ・ 相手の意見に反応する。
	5. 「自分にとって1番大切なもの」について、学級の友人とやり取りを行う。 （1） 自分の班の相手と1度目のやり取り ・ やり取りをしてみて、フィードバックを行い、言いたかった表現やあいづちの表現を学習グループで確認する。 （2） 別の班の相手と2度目のやり取り ・ やり取りの中でよかった表現などを共有する。 （3） 代表の生徒のやり取りを見て、会話のポイントを全体で共有する。 ・ 生徒同士でのやり取りを2組程度行う。	5. 1度目のやり取りが終わった後に、言いたかった表現や、詳しく伝え合うためのポイントなどを全体でも共有し、2回目のやり取りに生かせるようにする。 〈思・判・表〉自分にとって一番大切なものについて、伝え合っている。 〈主〉相手に伝わるように主体的に既習表現を用いて、伝え合おうとしている。（観察）
	6. やり取りの際のポイントを確認する。 ・ やり取りの中で使われた比較表現の確認をする。 ・ Repeat/Comment/ Question を行うことで相手との会話がつながることの確認をする。	6. 生徒たちが気づいたポイントをもとにまとめを行っていく。
	疑問詞を用いて質問し合い、相手の言ったことに反応することで、より詳しく伝え合うことができる。	
終末	7. 自己評価とふりかえりを行う。	7. 今日の活動を振り返り、できるようになったことや次時に挑戦したいことなどを書かせる。